



おかむら通信 第140号

平成28年12月



ご挨拶

11月は、急に風邪が流行りだし、また市内ではなぜかマイコプラズマ感染が急増しています。下旬には鳥インフルエンザのためたくさんのにわとりがかわいそうに、処分されています。

ブータンの国での経験の内容を掲示中ですが、そろそろ第2弾が出来上がります。ぜひともご覧になってください。

もうすぐ、今年最後の月が終わりますが、来年に向かって、めげずに、朗らかに、歩んでいきましょう。

今月の言葉

「人のために生きる時、人生はより困難になる。しかし、より豊かで幸せにもなれる。」

Life becomes harder for us when we live for others, but it also becomes richer and happier.

アルベルト・シュバイツァー



院長より



- ① 長谷川式簡易知能評価スケールにて現在認知症診断を行っています。気になる方は、どうぞみなさま、受けてみてください。
- ② 最近、大?病院から退院されて、術後のケアをうけられる方が増えてきました。手術のあとは、約3か月の養生期間がとても大切になってきます。この間、油断なされていると様々な病気が出現します。つまり免疫力の回復には時間がかかるということです。
- ③ 患者さんからの質問、「風邪薬をたくさんください」、といっても先生はくさしません。なぜですか？風邪薬としてよく抗生剤や咳止め、解熱剤も一緒に長期間だされる医療機関がごさいます。病気は一日一日の勝負です。治るのは薬ではありません。人間の自分で治る力が60%はあると思います。そして、日ごとに変化してゆきます。1週間以上同じ内容の薬をもらうことにどんな意味があるのでしょうか？



- ④ 鼻カメラを当院で検査されることを希望される方が増えてきました。より安全な、確実な診断のできる機器ですが、ありがたいことです。
- ⑤ 総合診療医、そうやっぱり、ブータンのドクターも基本的な技術として勉強をされていました。ある程度の高いレベルでほぼ全科の医療を行うのです。臨床に、実地にそくした厳しいトレーニングが世界では行われています。
- ⑥ 院長からの呼びかけ、まずはまとめて
- 1 帯状疱疹になったら、是非当院に来てください。(時間が長引くと治らないケースがあります。)
 - 2 補助犬 (盲導犬・聴導犬・介助犬) とともに外来を訪ねてください。待っています。
 - 3 障害者のかたの外来受診を歓迎します。
 - 4 外国人のかたの受診も気軽に。
 - 5 突発性難聴、急に耳がきこえなくなったり、まず治らないと言われたら、(早めの神経ブロックが奏効します) すぐ来て下さい。
- ⑦ 片頭痛で、いまだに強い鎮痛剤を長期に使っておられる方が多いようです。しっかりとした診断と体によい治療をしましょう。
- ⑧ インフルエンザの診断：今まで 24 時間すぎないと検査できないとされていたのが、発症後 3 時間で可能になりました。
- ⑨ 長引く腰痛などに、牽引・光線治療が効果的です。どうぞ利用してください。

院長 仕事コーナー

11/17(木) 保険医講習会 松戸市民会館
 /25 (金) 新松戸中央病院 無呼吸症候群について 新松戸中央病院
 /27 (日) 松戸市夜間救急小児センターにて診療 市立病院



Merry Christmas

先日夜に車を運転中に人生で初めて
 ☆流れ星☆を見ました。

一人で大興奮!! でした。~>~

12月に入りいよいよ今年もあと1ヶ月です。

皆様体を暖かくして過ごして下さいね。青木

